

事業事前評価表(開発調査)

作成日：2002年1月10日 担当部・課：農林水産開発調査部 林業水産開発調査課

1. 対象事業名：マラウィ国シレ川中流域における森林復旧・村落振興モデル実証調査

2. 我が国が援助することの必要性・妥当性

(1) 現状及び問題点

マラウィ国はアフリカ大陸の南東部に位置する内陸国で、国土の38.6%が森林であるが、そのうち慣習的に共同体により管理されている入会地（カスターマー・ランド）が17%を占めている。入会地は、国内燃料の90%を占める薪炭材の供給源となっているが、長年の伐採や農地への転換により、その面積は減少している。

準平原的な地形であるマラウィ国シレ川中流域は、同国最大の都市ブランタイヤ市の北部に位置するため、比較的人口密度が高く、都市への薪炭材供給や耕作地の拡大により、入会地の森林減少、農地の土壌流亡および生産性の低下、水土保持機能の低下が生じている。また、井戸の枯渇など、天然資源の劣化が顕在化しており、元来生活基盤の脆弱な地域住民は、一層の貧困状態におかれている。

(2) 国家開発計画、地域開発計画、分野別計画等の計画と当該案件の整合性

1997年には住民が中心となって天然資源の保全と植林を進めることを奨励した森林法が制定された。2001年には森林法を円滑に運用するためのガイドラインとして、また持続的な森林管理と貧困解消の橋渡しを目的として、国家林業計画(National Forestry Programme)が制定されている。

また、貧困削減戦略ペーパーの環境分野においても、住民参加型の天然資源管理や村落における生計手段の確保の重要性が指摘されている。

(3) 他国機関の関連事業と当該計画の整合性

調査対象地域では、USAIDやDFID等のドナーやNGOがアグロフォレストリーの普及活動に取り組んでおり、これらの活動と密接に連携しながら本調査を実施していく。

(4) 我が国の当該国への基本的な援助方針との整合性

我が国の援助重点分野のうち、「基礎生活支援（食糧増産・農業生産性の向上・貧困層の生活環境改善）」と「持続的開発のための資源保全・環境保護」とに合致する。

3. 事業の目的

マラウイ国シレ川中流域を対象として、森林復旧・アグロフォレストリー・生計向上を組み合わせた住民参加型天然資源管理・村落振興の実証調査を行い、効果の高い事業の選定およびその実施のための具体的な手順を明らかにするとともに、事業経験の蓄積や研修を通じて村落住民及び普及員の実施能力育成を行う。

4. 事業の内容

(1) 対象

- a. 調査対象：マラウイ国シレ川中流域に位置する、ルンズ川およびンココジ川流域の3900ha
- b. 技術移転の対象：森林復旧・村落振興に関わる政府職員（天然資源環境省林業局、農業灌漑省農業開発局、女性・青少年・地域事業省、経済企画省）、地方政府の職員、農業・林業・生活改善普及員と対象地域の住民

(2) アウトプット

- a. パイロットプロジェクト：村落レベルのパイロットプロジェクト（約2年間）において実施されるアグロフォレストリー、生計向上、森林復旧

を組み合わせた天然資源管理・村落振興活動の試験事業の実施

- b. 村落天然資源管理計画の見直し
- c. 技術移転：住民参加型資源管理手法

(3) インプット：以下の投入による調査および技術移転の実施

a. コンサルタント(分野/人数)

分野	人数
総括／アグロフォレスト リー	1
生計向上／ジェンダー	1
村落林業	1
業務調整	1

b. その他

- ・ 調査に必要な機材の購入
- ・ 現地作業監理
- ・ 研修員受入れ

(4) 総事業費

調査に要す費用：約2.1億円

(5) 調査のスケジュール

2002年3月～2005年3月(37ヶ月)

(6) 実施体制

- a. 協力相手国の実施機関名：天然資源環境省、農業灌漑省
- b. 協力相手国実施機関の責任者：天然資源環境省森林局長
Mr. Ellos Elard LODZENI

5. 成果の目標

(1) 提案計画の活用目標

アグロフォレストリー、生計向上、森林復旧を組み合わせた天然資源管理・村落振興活動が実施される。

(2) 活用による達成目標

- a. シレ川中流域内の農地においてアグロフォレストリーが定着する。
- b. 地域住民の平均収入が増加する。
- c. 地域内で継続的に植林が行われる。

6. 外部要因リスク

(1) 協力相手国内の事情

アグロフォレストリー・植林失敗につながる異常気象に見舞われる可能性がある。

(2) 関連事業の遅れ

本調査事業の遅延要因は特に想定されない。

7. 今後の評価計画

(1) 事後評価に用いる指標

a. 活用の進捗度

1. 地域住民によって、天然資源管理・村落振興活動が実行されているか。

b. 活用による達成目標の指標

1. 対象地域のアグロフォレストリーの実施面積
2. 周辺住民の世帯当たりの平均収入

(2) 上記a.およびb.を評価する方法およびタイミング

本格調査終了後の5年後及び10年後の事後評価